

平成27年度第1回競技委員会

平成27年6月12・13日(金・土)

北海道・札幌市(札幌市資料館研修室)

出席者…釜井、池田、伊勢、村田、市ヶ谷、松本、多田、
恒松、豊田、平、和田、安藤、本間、田熊

1・部長挨拶(釜井部長)

2. 大会開催関係

①平成27年全国高等学校総合体育大会(奈良県；村田)

1 プログラム編成会議

- ・期日；7月2・3・4日(木・金・土) 会場；桜井市中央公民館
- ・抽選方法の説明・確認…ブロックの色分けを変更
- ・シード選手の確認
- ・式次第及び参加者の確認

2 全国総体の実施要項について

- ・期日；8月7日(金)～11日(火) 開会式会場；桜井市民会館
競技会場；桜井市芝運動公園総合体育館
- ・参加申込み締切 6月25日(木)
- ・参加料が値上げになっている。
個人対抗；4,000円 学校対抗；40,000円
- ・宿泊について
広域配宿になっている。本部宿舎は奈良市内の予定。宿泊料金は、A～F。全て配宿センターに任せている。
- ・諸会議について…全て桜井市中央公民館で実施する
- ・プログラムの無償配付は、要項の規定通りに行う予定。
- ・用具検査基準のマスクの項目に(3)第2安全ベルトの件を追加した。
それに伴い図版も改訂した。

3 周辺図・会場図について

- ・会場は、3日前まで他の大会が使用している。
- ・練習会場は、使用できる日程が異なっている会場がある。
- ・大会期間中は無料シャトルバス(桜井駅～市民会館～体育館)の運行を行う。
- ・駐車場について
役員駐車場は確保してある。選手・監督用駐車場は、100台分ほど確保、マイクロバス等については、これとは別の場所に駐車してもらう。
- ・競技会場内の本部席は、仮設舞台を設置する。
- ・選手待機所は、競技場内入り口側に設ける。昨年(26年度)の神奈川大会と同じ形を考えている。
- ・観覧席が少ないので、仮設で500席増設する予定。そのため用具の持込を禁止し、用具は2階用具置き場に入れてもらうようにしたい。
- ・用具置き場の対面側にメンテナンス業者3社を入れる。

- 4 競技日程について…例年通りの日程
- 5 大会役員について…現在調整中
- 6 競技について…特に変更なし
- 7 式典次第
 - ・優勝校、優勝選手の確認
 - ・高体連表彰について
東亜学園・松山選手(個人フルーレ 3 連覇)と東亜学園・学校対抗 3 連覇を開会式終了直後に表彰する。
 - ・個人対抗・学校対抗の表彰授与者は、釜井部長と調整する。
 - ・個人対抗表彰式、閉会式の表彰前に成績発表が入る。
- 8 プログラム販売について
 - ・1部 1,000 円で販売する。
- 9 その他
 - ・宿舎は希望できるのか→ランクの希望はできる
 - ・本部宿舎は、夕食が付かない
 - ・ノンコンバットは、個人対抗・学校対抗共に取る
→監督への通知連絡に入れる

②平成 27 年度全国高等学校選抜大会(山口県；本間)

- 1 期日；3月25日(金)～27日(日) 会場；岩国市総合体育館
- 2 会議について
 - ・プログラム編成会議；2月5日(金)6日(土) 会場；岡山県岡山市
 - ・会議日程の全国委員会を削除する。監督会議を13:30に繰り上げる。
- 3 練習会場の岩国市立麻里布小学校は使用しない
- 4 その他
 - ・参加申込みは、ダウンロード方式で行う。締切期限は、1月27日(水)
 - ・宿泊は、日本旅行に依頼する。
 - ・プログラムは、奈良選抜同様に写真入りを検討している。
 - ・表彰台を製作する予定。
 - なくても良いが、作るのであれば3位に二校分のスペースを確保して欲しい。
- 5 実施要項について
 - ・日程の全国委員会を削除。
 - ・監督会議の時間を上げる。
 - ・参加料は、全国総体と同額の40,000円
 - ・抽選にプロジェクターを導入したい→検討する
 - ・用具検査基準に、マスクの第2バンドの項目を追加する
 - ・用具検査のマスクケーブルはチーム5本までの規定は、このままでよい
か。→現行の通り5本までとする。

③ 平成 28 年度全国高等学校総合体育大会(山口県；本間)

- ・ 期日； 7 月 29 日（金）～ 8 月 2 日（火） 会場； 岩国市総合体育館
 - ・ プログラム編成会議； 6 月 30 日（木）・ 7 月 1 日（金） 岩国市総合体育館会議室を予定
 - ・ 練習会場は 4 カ所を予定しているが、岩国高校が使えないかもしれない。
 - ・ 会場までの交通手段について
JR 岩国駅から会場までの路線バスが廃止されてしまったため、JR 川西駅から徒歩でお願いするしかない状況。川西駅までの本数が少ないのが問題。シャトルバスは、現在のところ予定なし。
- 奈良では、利用者に実費を払ってもらう方法でシャトルバスを運行することも検討した。参考にしてはどうか。京王観光を利用するのも良いのでは。

④ 平成 28 年度全国高等学校選抜大会(山梨県；釜井)

- ・ 期日； 29 年 3 月 18 日（土）～ 20 日（月）
- ・ 会場； 甲府市総合市民会館 山の都アリーナ
- ・ 種目； フルーレ・エペ・サーブルの 3 種目学校対抗戦を予定

3. 選抜大会における競技種目の変更に関する案について（伊勢）

- ・ 別紙資料について説明あり
- 3 種目 24 チーム参加、タイムテーブル案、トーナメント表、用具検査等。
- ・ 用具検査の簡略化（マスクとメタルジャケットのみ）で競技時間を確保する。
- JOC 方式（マスクのみ）としてはどうか。
- メタルジャケットまで略してしまうと、相手に不利益が生じる。またそのために競技時間が遅れると思われる。
- 用具の修理方法を HP に掲載してはどうか。
- メンテナンス業者に簡易な修理でも費用を取ってもらっても良いのではないか。
- ・ 多種目の監督を兼任することはどうなのか。
- 規程集の選抜競技の項目を変更しなくてはならない。現実を考えると男女 3 種目計 6 人の監督を 1 つの学校で出すのは無理がある。兼任はやむを得ない。
- 男女 1 名ずつ案、6 種 1 名案、コーチの監督代行案等の意見が出される。
- ※ 監督の兼任については、検討委員会で再検討する。
- ・ 参加料については、2 種目目から半額とする。2 種目目以降を半額にしても参加チーム数が増えているので、現行よりも運営費用は大幅に増える。また参加校の負担も減らすことができる。
- 地元にとっても、参加校にとってもメリットがある案でよいと思う。
- インターハイと連動する必要はないので、参加料自体の値下げを検討してはどうか。伊勢案は、予算立てを行う際に不確定要素あるため開催地としてはやりにくいのではないか。

※ 予算立ての基準となる資料がないので、検討できない。昨年度の奈良選抜のデータを使って、三種目の開催の試算を出して再検討する。

- ・ 審判員については、日本協会の審判長に人選から会議まで任せる案が出された。選抜大会に合わせて、審判講習会を行うことができ、審判の養成にもつながる。
- ・ 指導者講習会についても、エペ・サーブルに重点を置いて実施する予定。
- ・ 選手、指導者のマナー向上を図るため、他の専門部が出しているマナー集を作成してはどうか。
- ・ 閉会式の観客の少なさが気になる。大会後に錬成会などを実施してはどうか。

4. その他

① 加盟費の値上げについて

- ・ 8月までに申請しなければならない。全国高体連からの指導で、登録費の名目が使えなくなるため文言の修正を行う。これについては、部長、副部長で検討する。

② 全国高体連共催申請の仕方が変更になる。開催地協会→日本協会→全国高体連。ただし、開催地協会にすべてを任せるのではなく、専門部が係わらなければ申請はできないので、専門部がやらなければならないことは代わらない。

③ 全国総体の組合せを読売新聞社にも送付するようになった。

④ 2020年問題について

- ・ 全国総体を開催することは決まっているが、開催地が決まらない。全国高体連から専門部に、期間をオリンピックとパラリンピックの間（8月10日～24日）や9月19日～21日の3連休での開催で検討して欲しいと要請があった。

→ 自治体の協力がなければ予算立てができないため、事実上開催は無理ではないか。

→ 競技種目を減らして実施する案（学校対抗のみ）はどうか。

→ オリンピック会場になる自治体に開催を依頼する案はどうか。

⑤ 登録について

- ・ 現在、登録はUSBを使ってお願いしているが、ここ数年でUSBの紛失が2件起こっている。登録方法の変更を検討している。一案として、メールでのやり取りも検討している。